

# 第80期 中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで



世界中のものづくりの  
課題解決屋になる

リックスグループは、  
“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、  
世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

**RIX** リックス株式会社

証券コード：7525

# 世界中のものづくりとネットワークを繋ぐ・創る

# 「メーカー商社」として

「メーカー商社」として  
4つの機能を融合



「メーカー商社」としての強み・優位性



技術力がある

(自社工場と研究開発施設保有)

×



取扱品数が多い

(取引先約2,600社 商品数約3,000種)

||

様々な顧客のニーズに応える  
高い課題解決力

当社のみが取扱い・販売できる「オリジナル品」

## 当商家材区分と「オリジナル品」

「オリジナル品」とは、自社製品・グループ会社製品・専売仕入品など、当社のみが取り扱いでき販売できる品群です。

01 自社製品

自社工場で作る製品  
例：ロータリージョイントなど

02 グループ会社製品

当社グループ会社がつくる製品  
例：バルブなど

03 専売仕入品

当社が独占販売権を持つ仕入品  
例：海外製インパータなど

04 一般仕入品

「オリジナル品」

なぜ「オリジナル品」を重要視するのか



優位性・独自性が高い



顧客課題の解決に繋げやすい



メーカー機能強化で海外に打って出やすい



利益率が高い

競争力・優位性・独自性があることで  
利益率が高く、海外にも展開可能

## 「オリジナル品」の一例のご紹介



自社製品ARASEN  
(EV・HEV製造工程用)



自社製品D-RAT  
(EV・HEV製造工程用)



自社製品エネミックス  
(ポータブルハイブリッド電源)



自社製品洗浄装置



専売仕入品  
インパータ(海外製)



自社製品  
ロータリージョイント



グループ会社製品  
加硫用バルブ

国内外における  
幅広い産業界の課題を解決



高い専門性で顧客密着



文字通り“顧客密着” 顧客工場近くに営業所

- 国内44か所、海外7か国12か所に拠点を展開
- いずれも顧客工場の近くに展開し、素早く対応



作業着の汚れは勲章。現場に深く入り込む

- 営業担当は作業着を着て顧客工場に入り込む
- 生の現場を見ることで課題や情報を収集
- 時には顧客と同じように作業着を汚すほど現場密着



115年で紡いだ顧客との信頼関係

- 創業115年以上で培った顧客との関係性で、ほかの商社では知り得ない情報を先回りで獲得
- 課題はチャンス。解決することでさらなる信頼関係を構築





## ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第80期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第80期中間報告書をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 **安井 卓**

## 「協創型メーカー商社」として社内外連携を強化し課題解決力を高め、新たなオリジナル品の供給やビジネス領域の拡大に取り組んでまいります。

### Q 当中間期の営業概況について教えてください。

**A** 前年同期比で、売上高は0.7%増の261億79百万円、営業利益は1.2%減の16億75百万円、経常利益は3.6%減の18億25百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は5.3%増の12億78百万円となりました。

当中間期の世界経済は、米国では関税政策の影響等により製造業の設備投資に陰りが見られました。欧州では製造業の外需は落ち込みが見られましたが内需は底堅く推移し、中国では不動産市況の低迷が影響し、内需に落ち込みが見られたものの外需には持ち直しが見られた等、地域及び需要分野によって景況感に差が見られました。

また、日本経済は、訪日外国人数が継続して過去最高を記録しており、サービス産業は底堅く推移しました。製造業については、人手不足に対応する設備投資については好調ではありましたが、世界経済の低迷や米国関税政策等の影響を受け、依然として先行き不透明な状態が見られました。

このような経済環境の中、当社グループでは中期3ヵ年計画「GP2026」に基づく施策に取り組んだ結果、当中間連結会計期間の

連結業績は、売上高261億79百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益16億75百万円（同1.2%減）、経常利益18億25百万円（同3.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益12億78百万円（同5.3%増）となりました。各利益の主な増減要因ですが、新たな研究開発施設の稼働開始に伴う減価償却費や本社移転関連費用などにより、販売費及び一般管理費が前年同期比で8.9%増加したことが営業利益を押し下げました。また、円高により前年同期に発生していた為替差益16百万円が当中間期では為替差損26百万円に転じたことなどにより経常利益を押し下げました。なお、親会社株主に帰属する中間純利益については、特別損失が前期比で76百万円減少したことで増加しました。

### Q 当中間期のセグメント別事業の概況について教えてください。

**A** 8セグメント中、4セグメントで増収となりました。

鉄鋼業界向けでは、海外市場の更なる開拓に加え、生産比例品のみならず整備部門への営業活動にも注力した結果、自動化及び省力化に寄与する設備機器類の販売や、研究開発部署向けに

当社オリジナル品である評価装置の販売等があり、売上が増加しました。この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は79億34百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は9億69百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

自動車業界向けでは、CASE市場で注目されている電池やモーター分野への営業・提案活動に注力した結果、電池製造工程向けに設備機器や電池材料の販売、電動化案件向けへの電装品類の販売等により売上を確保しましたが、第1四半期の落ち込みを埋めるまでには至らず、前年同期比で売上は減少しました。この結果、自動車業界向け全体としての売上高は53億97百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は5億35百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

電子・半導体業界向けでは、修理・再生ビジネスに加え、現場・設備・保全部門に対する営業活動に注力した結果、ユーティリティ関連の設備案件や安全対策に関する設備投資案件等により、売上が増加しました。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は35億36百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は3億99百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、開発部門への営業活動に加え、設備投資に関する営業活動に注力した結果、海外タイヤ製造工場向けの加工設備機器の販売や老朽設備の更新案件等により、売上が増加しました。この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は18億68百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は1億98百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

工作機械業界向けでは、工作機械の5軸化・複合化の要求に対応する用途開発・機器の営業に加え、付帯設備の拡販活動に注力した結果、当社オリジナル品であるロータリージョイントの販売が増え、売上が増加しました。この結果、工作機械業界向け全体としての売上高は11億88百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は2億84百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

高機能材業界向けでは、医薬・化粧品分野の開拓に加え、既存客先の深耕に注力した結果、化学メーカー向けの冷却設備レンタル案件や官公庁向けに当社オリジナル品であるプロワー類の販売等の好調な要因はあったものの、前年同期に発生した大型案件が今期はなく、売上は減少しました。この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は10億30百万円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益は1億5百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

環境業界向けでは、近年重要視されている環境及びエネルギー産業、水処理関連事業への深耕に注力した結果、近年注目さ

れているデータセンター向け高調波抑制装置の販売等の好調な要因はあったものの、前年同期に発生していた大型工事事件の完工や老朽化設備の更新案件の終了に伴い、売上が減少しました。この結果、環境業界向け全体としての売上高は10億88百万円（前年同期比34.5%減）、セグメント利益は88百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

紙パルプ業界向けでは、バイオマス素材であるCNF分野やエネルギー・ケミカル素材分野、既存設備のメンテナンス事業への深耕に注力した結果、設備トラブルに伴う冷却装置のレンタル案件等の好調な要因はあったものの、前年同期に発生した設備投資案件が今期はなく、売上は減少しました。この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は4億59百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は56百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

### Q 下半期の展望などについてお聞かせください。

**A** 2026年3月期の通期連結業績予想は以下の通りです。

2026年3月期通期では、連結売上高570億円、営業利益39億90百万円、経常利益40億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益28億50百万円の達成を目指してまいります。

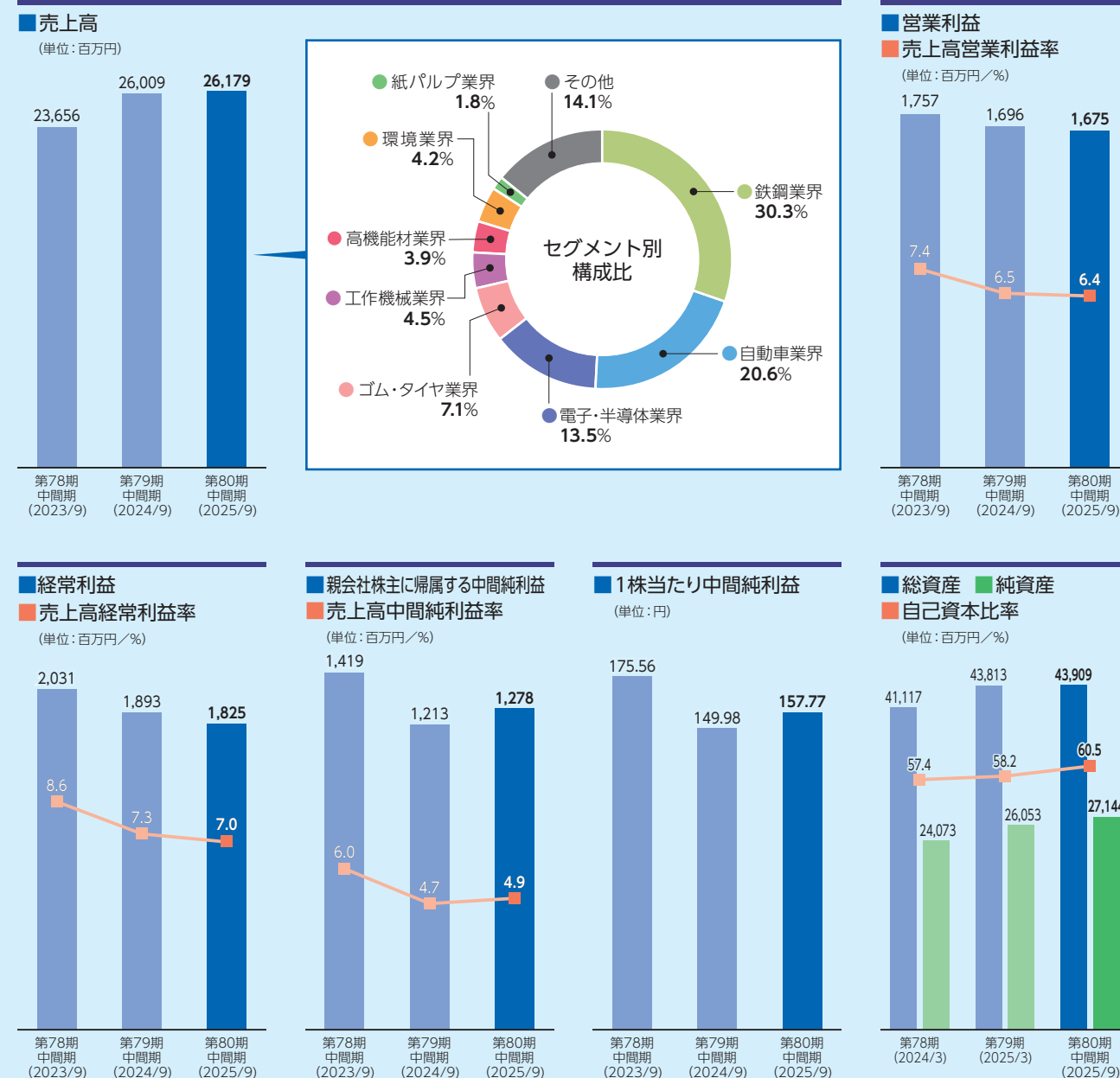
### Q 株主還元の状況など株主様へのメッセージをお願いします。

**A** 期末普通配当予定は1株当たり82円、年間配当金は1株当たり146円となる見込みです。

株主様への利益還元について当社では、連結株主資本配当率（DOE）4.5%以上、かつ連結配当性向40%以上を目標として、安定的な配当を実施いたします。

このような方針の下、当中間期末では前回予想と同額となる、1株当たり64円の間配当を実施させていただきました。また、期末普通配当予定は1株当たり82円といたしました。これにより年間配当金は、1株当たり146円となる見込みです。

株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 中期経営計画「GP2026」 (RIX Growth Plan)

当社グループは、2024年度より中期3ヵ年計画「GP2026」を下記の通り策定しました。社会課題の解決と経営目標の達成に向かって全社一丸となって取り組んでまいります。

当社グループの  
あるべき姿

世界中のものづくりの課題解決屋になる

当社グループの  
ビジョン

リックグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

定量目標  
2026年度

連結売上高 600億円 / 連結営業利益 45億円 / 連結経常利益 47億円

## 「GP2026」を達成するための4つの軸

### 01 ビジネス領域の拡大(連結売上高600億円)

●現状の業界・業種(504億円) ●成長分野(66億円) ●海外(570億円のうち85億円 約15%)

### 02 収益性の向上

●営業利益率7.5%以上・ROE11%以上(事業活動の効率化) ●オリジナル品比率35%以上(新製品・新商品開発)

### 03 人材・組織の強化(全体最適・スピードアップ)

●ライフ・ワーク・バランスの充実 ●RIXing Actionを実践できる人材の育成・定着  
●協創センターをフル活用する仕組みづくり ●新システムへのスピーディーな移行

### 04 ステークホルダーリレーションズの充実

●CSV-Creating Shared Value ビジネスを通じた社会貢献の実行 ●ステークホルダーとのコミュニケーション活性化  
●ガバナンス体制の強化に向けた取り組みの推進

■「GP2026」初年度から変更した箇所



## 01 本社移転について



当社は2025年9月22日(月)、本社を移転しました。旧本社は建設から約50年が経過し、建物並びに設備の老朽化が進んでおり、従業員がより安心して働ける職場環境や、ライフ・ワーク・バランス充実のために柔軟な働き方が選べるオフィスのあり方について検討した結果、本社移転の決定にいたしました。

**新本社住所** 福岡県福岡市博多区東比恵一丁目4番10号 S-GATE FIT 東比恵 5階

## 02 半導体関連の修理工場建設について(熊本県)

当社は2025年4月、熊本県西原村と「企業立地に関する基本協定」を締結し、今後、半導体関連の修理工場の建設を計画しております。

同工場では、半導体製造で使われる周辺機器の修理再生を行う予定です。(2027年4月の操業開始予定)

**【建設予定地】** 第二鳥子工業団地 (熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子)



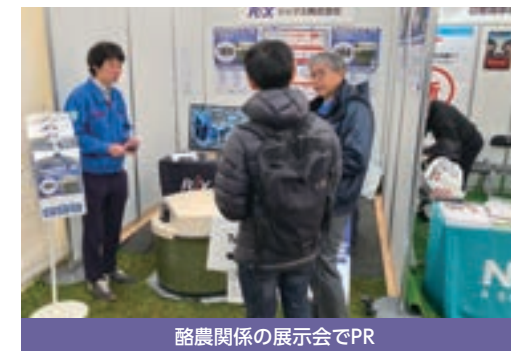
## 03 酪農向け 餌寄せロボットの開発について



当社は現在、産業用ロボット開発で培ったノウハウを活かし、酪農向けに小型の餌寄せロボットの開発・実証試験を進めています。牛が餌を食べやすいように押し戻すこのロボットにより、**酪農家の作業効率化、コスト削減**に貢献できると考えております。



開発・実証試験中の餌寄せロボット



酪農関係の展示会でPR

詳細



動画





本社	★管理本部、企画本部
営業本部	■グローバル営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所、碧南営業所、小倉営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、北上営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、姫路営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所 ●アジア・ヨーロッパ営業統括部、海外営業部
工場	■福岡事業所 生産本部
研究・開発所	▲中部テクニカルセンター ▲NB開発本部 横浜事業所、大阪事業所 ▲リックス協創センター



会社概要	
商 号	リックス株式会社
英 文 社 名	RIX CORPORATION
創 業	明治40年(1907年)10月
設 立	昭和39年(1964年)5月
資 本 金	8億2,790万円
従 業 員	505名(連結788名)
主要な事業内容	流体応用機器・設置製造販売/ 精密自動・計測機器販売/製鋼副資材等販売

取締役及び監査等委員である取締役			
代表取締役 社長執行役員	安井卓	取締役 (常勤監査等委員)	中山真一
代表取締役 副社長執行役員	柿森英明	取締役 (監査等委員)	植松功(*)
取締役 上席執行役員	大沢賢司	取締役 (監査等委員)	大山一浩(*)
		取締役 (監査等委員)	佐藤佳奈子(*)
(※) 社外取締役			

株式の状況

●発行可能株式総数

27,600,000株

●発行済株式の総数

8,640,000株

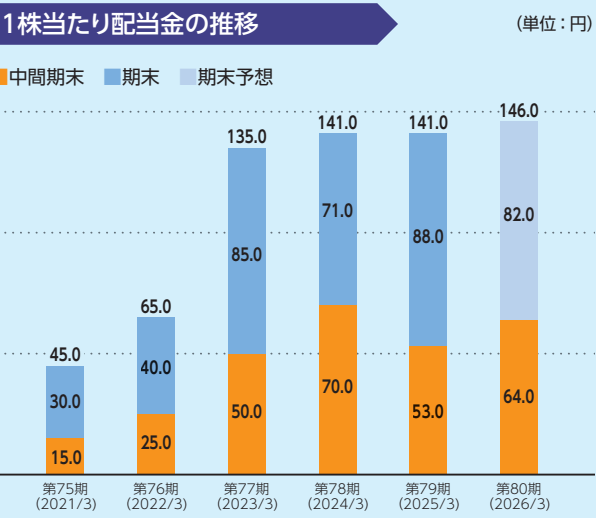
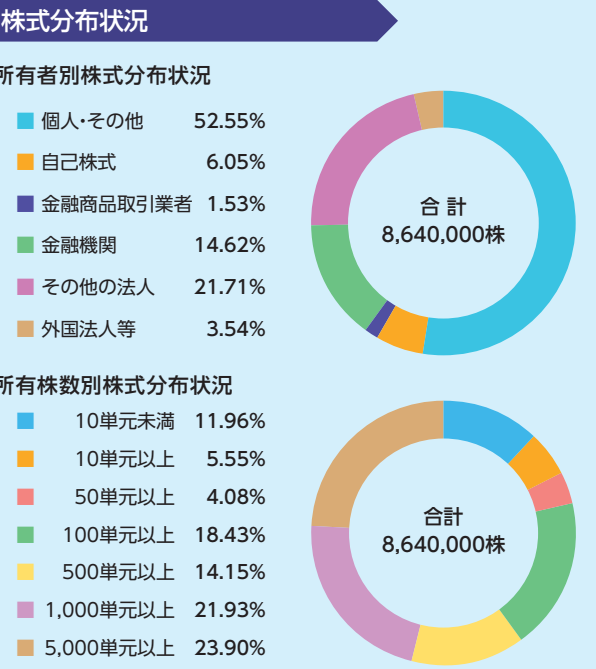
●株主数

8,862名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	923	11.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	618	7.62
リックス取引先持株会	363	4.48
リックス従業員持株会	249	3.08
安井玄一郎	243	2.99
株式会社西日本シティ銀行	191	2.36
園田和佳子	171	2.11
山田貴広	162	2.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	133	1.65
国立大学法人九州大学	130	1.60

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2. 当社は自己株式522千株を保有しております。



## 株主メモ

**事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月

**配当金受領** 期末配当金 3月31日  
**株主確定日** 中間配当金 9月30日

**株主名簿管理人  
及び特別口座の  
口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

### 株式に関する各種手続の申込先について

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。  
ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

**同連絡先** 東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

**公告方法** 電子公告により行います。  
公告掲載  
URL <https://www.rix.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

**単元株式数** 100株

**上場証券取引所** 東京証券取引所プライム市場  
福岡証券取引所

## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

● 割当基準日	3月31日
● 優待内容	
100株以上300株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 1,000円分
300株以上500株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 2,000円分
500株以上1,000株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 3,000円分
1,000株以上10,000株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 4,000円分
10,000株以上 所有の株主様	⇒ クオカード 10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご利用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索

